



2023年8月期

中間決算説明会

第26期

DATE 2023.4.21
AUTHOR Media Kobo

目次

- 01 | 2023年8月期 中間業績
- 02 | 当社の状況と今後の取組み
- 03 | TOPICS
- 04 | ご参考（会社概要）



01 | **2023年8月期 中間業績**

02 | 当社の状況と今後の取組み

03 | TOPICS

04 | ご参考（会社概要）

前年同期比減 利益改善が下期課題に

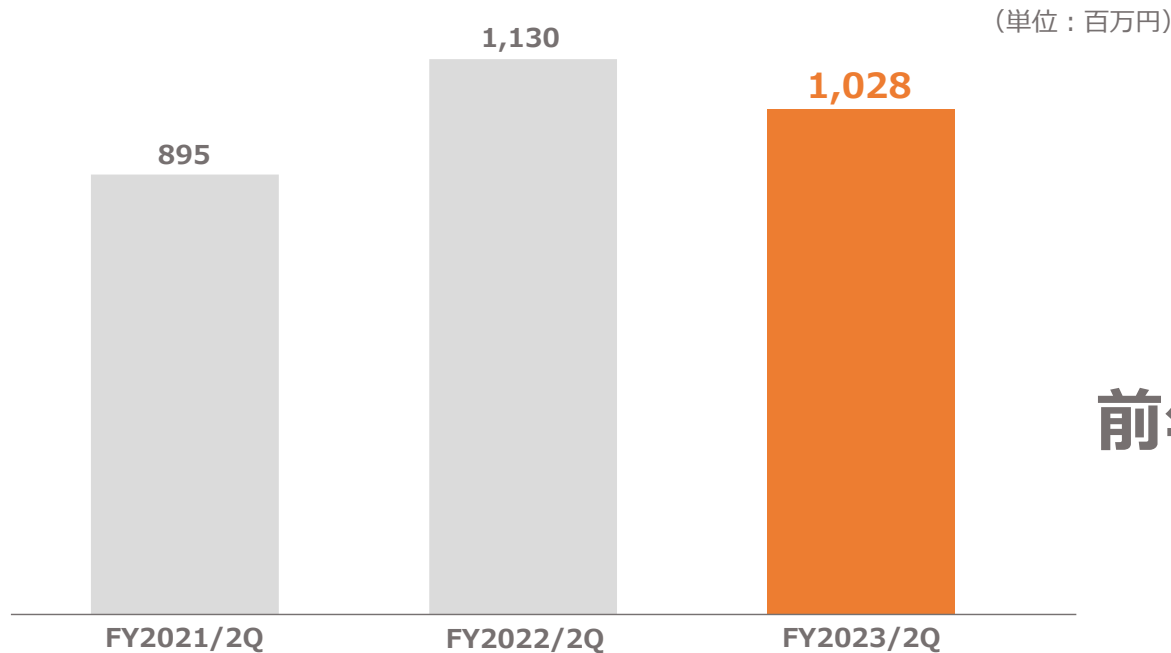
◇ ISPの占いコンテンツ配信縮小方針が影響

新規事業売上が僅少な中 その他の配信先において縮小分を補うに至らず減収

◇ 売上減の他SNS事業を始めとする新規事業コストが営業利益を圧迫

(百万円)	FY2022/2Q	FY2023/2Q	増減額	前年同期比 (%)	FY2023 (予想)	進捗率 (%)
売上高	1,130	1,028	▲101	▲9.0	2,150	47.8
営業利益	120	30	▲89	▲74.5	150	20.4
経常利益	113	25	▲87	▲77.1	140	18.5
親会社株主帰属 四半期純利益	93	18	▲75	▲80.7	95	19.1
1株当たり 四半期純利益 (円)	9.31	1.80	▲7.51	▲80.7	8.41	21.4

■ デジタルコンテンツ不調 売上源泉となる新規占いコンテンツが不発



前年同期比 **9.0 %減**

▼ 主な要因等

・ 既存事業

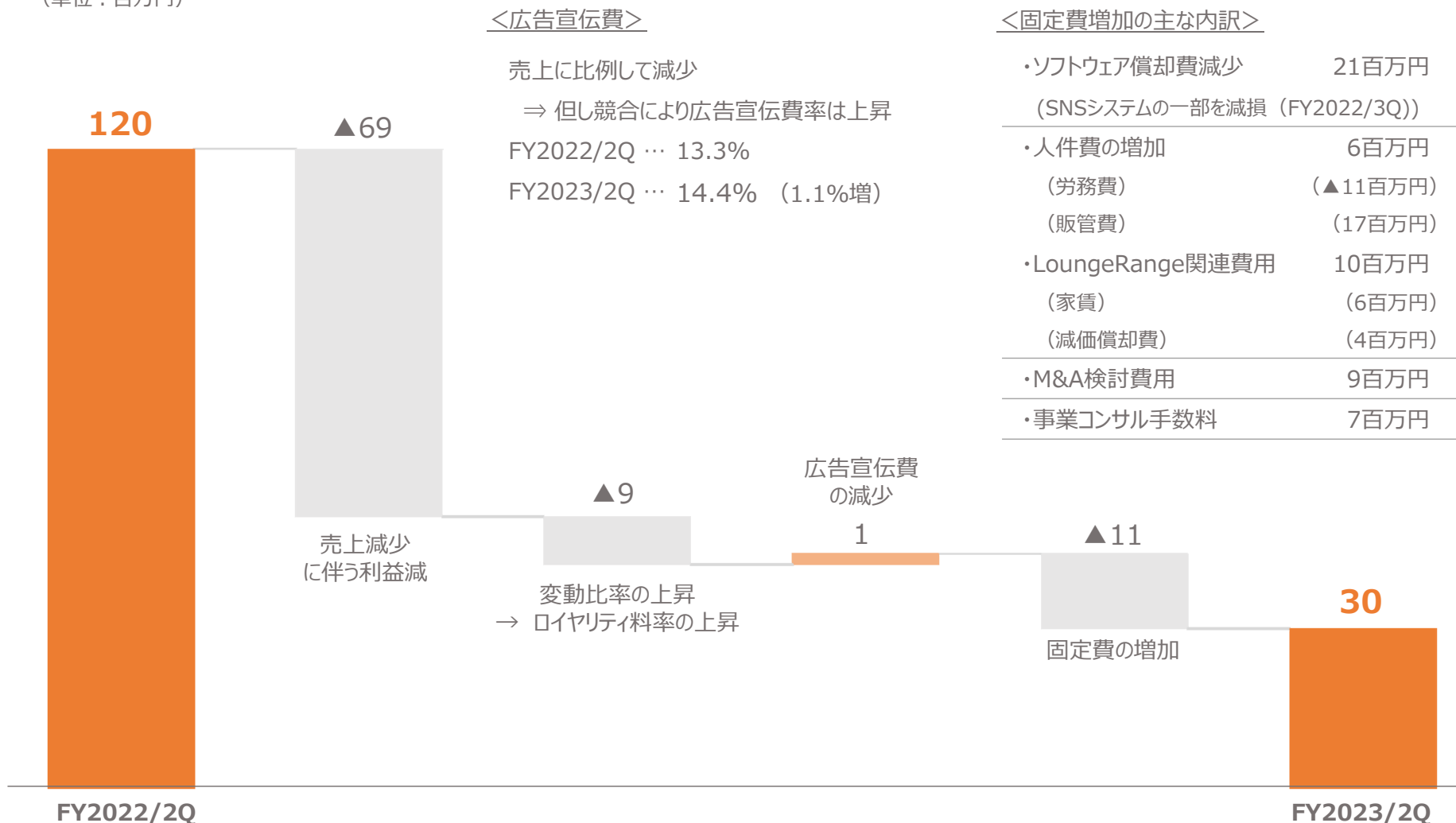
- ⇒ 新規占いコンテンツ 6本リリース中3本が不調
- ⇒ 既存占いコンテンツ 人気コンテンツの運用長期化および同占い師の他社コンテンツリリースに伴う売上減 / ISP方針による配信の縮小・停止
- ⇒ One to One 配信先プラットフォームによる広告縮小が収益に影響 配信先プラットフォームにおけるシェアは拡大傾向

・ 新規事業

- ⇒ LoungeRange (シミュレーションゴルフ) 集客に注力するも売上への貢献は僅少に留まる
- ⇒ Web・アプリサービス OneRoof / CarryGo! それぞれ改修・開発中となり 売上は3Q以降の見込み

■ 売上減少が大きく影響 前年同期比74.5%減

(単位：百万円)



<広告宣伝費>

売上に比例して減少
⇒ 但し競合により広告宣伝費率は上昇
FY2022/2Q … 13.3%
FY2023/2Q … 14.4% (1.1%増)

<固定費増加の主な内訳>

・ソフトウェア償却費減少 (SNSシステムの一部を減損 (FY2022/3Q))	21百万円
・人件費の増加 (労務費)	6百万円 (▲11百万円)
(販管費)	(17百万円)
・LoungeRange関連費用 (家賃)	10百万円 (6百万円)
(減価償却費)	(4百万円)
・M&A検討費用	9百万円
・事業コンサル手数料	7百万円

(百万円)	FY2022/2Q	FY2023/2Q	増減額	増減率 (%)
販売費および一般管理費	455	496	40	9.0
人件費	130	148	17	13.8
広告宣伝費	149	148	▲1	▲1.0
減価償却費	5	4	▲1	▲21.0
業務委託料	60	61	0	1.0
採用費	6	9	2	33.8
オフィス賃料等	23	22	▲1	▲4.4
その他	78	102	23	30.2

▼ 主な内容

・ 人件費 (内訳)

- ⇒ 販管費の増加 17百万円
 - … 派遣の増加 正社員獲得にいたるまでの一時的な増加

・ その他 (内訳)

- ⇒ M&A検討にかかる費用 9百万円
 - … 収益柱の構築に向けて引き続き積極的に検討する方針
- ⇒ 手数料 7百万円
 - … 新規事業に関する事業コンサルティング 内部に知見をためるための初期投資

セグメント別業績

(百万円)		FY2021/2Q	FY2022/2Q	FY2023/2Q	増減額	増減率 (%)
合計	売上高	895	1,130	1,028	▲ 101	▲9.0
	営業利益	8	120	30	▲ 89	▲74.5
デジタルコンテンツ	売上高	548	712	634	▲ 78	▲11.0
	営業利益	182	284	230	▲ 54	▲19.2
One to One	売上高	341	406	391	▲ 14	▲3.6
	営業利益	36	59	47	▲ 12	▲20.9
XR	売上高	0	0	—	0	▲100.0
	営業利益	▲ 31	※2 ▲ 6	▲ 8	▲ 1	23.2
SNS	売上高	1	8	1	▲ 7	▲85.3
	営業利益	▲ 7	※3 ▲ 63	▲ 69	▲ 5	8.5
その他	売上高	4	2	1	▲ 1	▲51.8
	営業利益	▲ 28	▲ 4	▲ 4	0	▲7.3
調整額	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	▲ 143	▲ 149	▲ 164	▲ 15	10.4

※ 1. 過去の業績および比較は現在のセグメントに合わせて遡及修正を行っています。

※ 2. FY2021に行った事業精査により前年同と比較して減価償却費の負担がなくなっております。

※ 3. FY2023/2QにおいてはSNS事業への先行投資が続いております。SNS事業における開発費の先行投資はFY2023までとなる見込みです。

また、FY2021の4Q以降 ソフトウェアの資産計上をさらに保守化しており、SNS事業においては新規サービス「OneRoof」の開発費（改修含む）が費用計上されております。

連結貸借対照表（資産の部）

(百万円)	FY2022	FY2023/2Q	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,716	2,193	▲ 522	▲19.3
うち現金および預金	2,384	1,880	▲ 504	▲21.1
うち売掛金	287	262	▲ 24	▲8.7
固定資産	289	306	16	5.8
うち建物	29	26	▲3	▲12.8
うちソフトウェア	14	35	20	142.9
うちソフトウェア仮勘定	18	27	8	46.9
うち投資有価証券	20	20	—	—
うち敷金および保証金	93	92	0	▲0.2
うち繰延税金資産	90	84	▲5	▲6.2
総資産	3,006	2,500	▲ 506	▲16.8

▼ 主な要因等

流動資産

- ・ 現預金：借入の返済482百万円 + 配当金の支払い45百万円 = 527百万円減少

固定資産

- ・ 建物：LoungeRange店舗
- ・ ソフトウェア：ユーザー/キャスト管理システム（One to One）29百万円
- ・ ソフトウェア仮勘定：電話占いシステム開発（One to One）8百万円 CarryGo! システム（SNS）16百万円
- ・ 投資有価証券：(株)ブーリアンへの出資（純投資目的）

連結貸借対照表（負債/純資産の部）

(百万円)	FY2022	FY2023/2Q	増減額	増減率 (%)
流動負債	1,039	843	▲ 196	▲18.9
うち買掛金	57	53	▲ 4	▲7.0
うち1年内返済予定の長期借入金	799	599	▲ 199	▲25.0
うち未払費用	43	40	▲ 3	▲8.1
固定負債	610	328	▲ 282	▲46.3
うち長期借入金	610	328	▲ 282	▲46.3
負債	1,650	1,171	▲ 478	▲29.0
株主資本	1,356	1,329	▲ 27	▲2.0
うち資本金	451	451	—	—
うち利益剰余金	996	969	▲ 27	▲2.7
うち自己株式	▲ 514	▲ 514	—	—
純資産	1,355	1,328	▲ 27	▲2.0

▼ 主な要因等

負債

借入の返済 482百万円

純資産

① 四半期純利益 18百万円（利益剰余金） ② 配当金の支払い 45百万円 … ① + ② = 27百万円減少

<営業CF 60百万円の主な内訳>

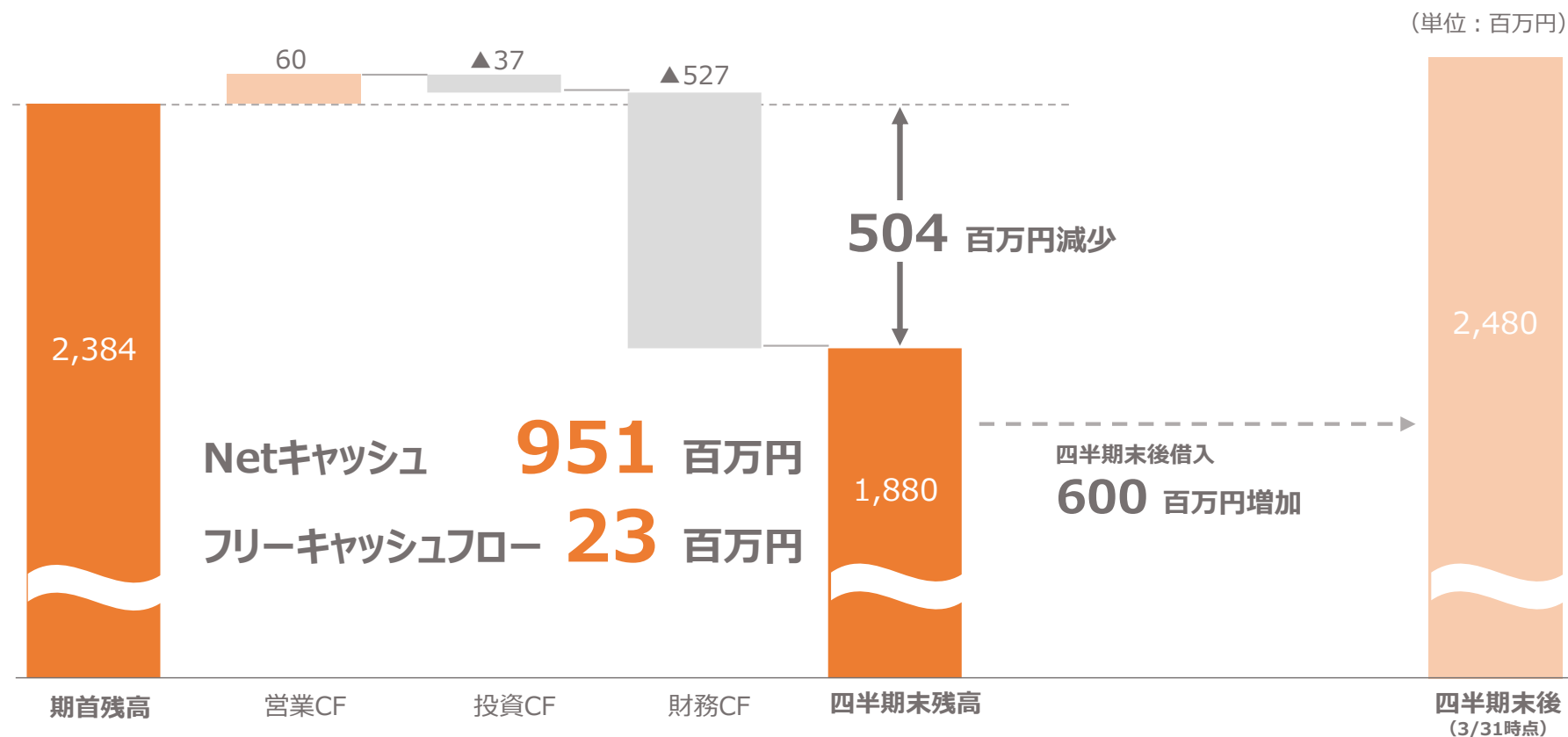
売上債権	24百万円
税引前四半期純利益	25百万円
減価償却の足し戻し	15百万円

<投資CF ▲37百万円の主な内訳>

システム開発	
・ CarryGo !	14百万円
・ 管理システム	17百万円
・ 電話占いシステム	3百万円
・ マーケティングシステム	1百万円

<財務CF ▲527百万円の主な内訳>

借入金の返済	482百万円
配当金の支払い	44百万円



※ FY2022/2Q : Netキャッシュ 936百万円 フリーキャッシュフロー 178百万円
 ※ FY2021/2Q : Netキャッシュ 718百万円 フリーキャッシュフロー 41百万円



01 | 2023年8月期 中間業績

02 | 当社の状況と今後の取組み

03 | TOPICS

04 | ご参考（会社概要）

※ 1. 上場維持基準に従い1単元以上の株式を所有する株主数を記載しております。

※ 2. 小数点第二位を切り上げて処理しております。

	項目	数値基準 (上場維持基準)	当社状況
事業計画	時価総額	40億円 (上場10年経過後)	34.7億円 (2022年12月～2023年2月平均)
	株主数	150人以上	2,956名 (2023年2月末日時点) ※1.
流動性	流通株式数	1,000単位以上	27,986単位 (2023年2月末日時点)
	流通株式時価総額	5億円以上	8.6億円 (2022年12月～2023年2月平均)
	売買高	月平均10単位以上	21,351単位 (2022年7月～2022年12月平均)
ガバナンス	流通株式比率	25%以上	24.77% (2023年2月末日時点) ※2.

◆時価総額未達の原因分析

時価総額 = 業績 × 成長性 × … (その他 様々な要素)

業績 : 直近5年の業績においては最終利益は黒字なものの各期において利益が大きく上下することが不安定感につながっている

成長性 : 新規事業であるSNS事業の具体的な成長が見えづらい

⇒ 株価向上のため既存事業における利益率改善および事業領域拡大、成長ストーリーと進捗の積極的発信に努める

⇒ 成長性がイメージできる事業への積極的な進出とリソースの投入

◆流通株式比率未達の原因分析

2022年8月以降においてその他国内法人や持株会による株式取得が発生したため比率が若干低下

⇒ 2023年～2025年にかけて大株主保有分の売却等の実地を検討中。

経営基盤の強化

- 技術開発・情報セキュリティへの投資
- 財務の健全性・透明性のさらなる向上
- 人材の獲得・育成、組織の健全な新陳代謝の促進
- 成長事業に資本（資金・人材）を投下

収益基盤事業の拡大・深耕

- 既存事業（デジコン/One to One）の利益向上
⇒ 積極的なシステム化への投資
⇒ プロモーション力強化
- 収益モデルの多様化
- 分析強化によるニーズへの迅速・的確な対応
- アライアンス強化

新規事業の収益基盤化

- 新規事業開拓への積極的な挑戦・投資
- 一事業に依拠しない経営でリスクを低下
⇒ 2023年8月期中 事業スキーム完成予定

シナジーの発揮

中期最重要項目

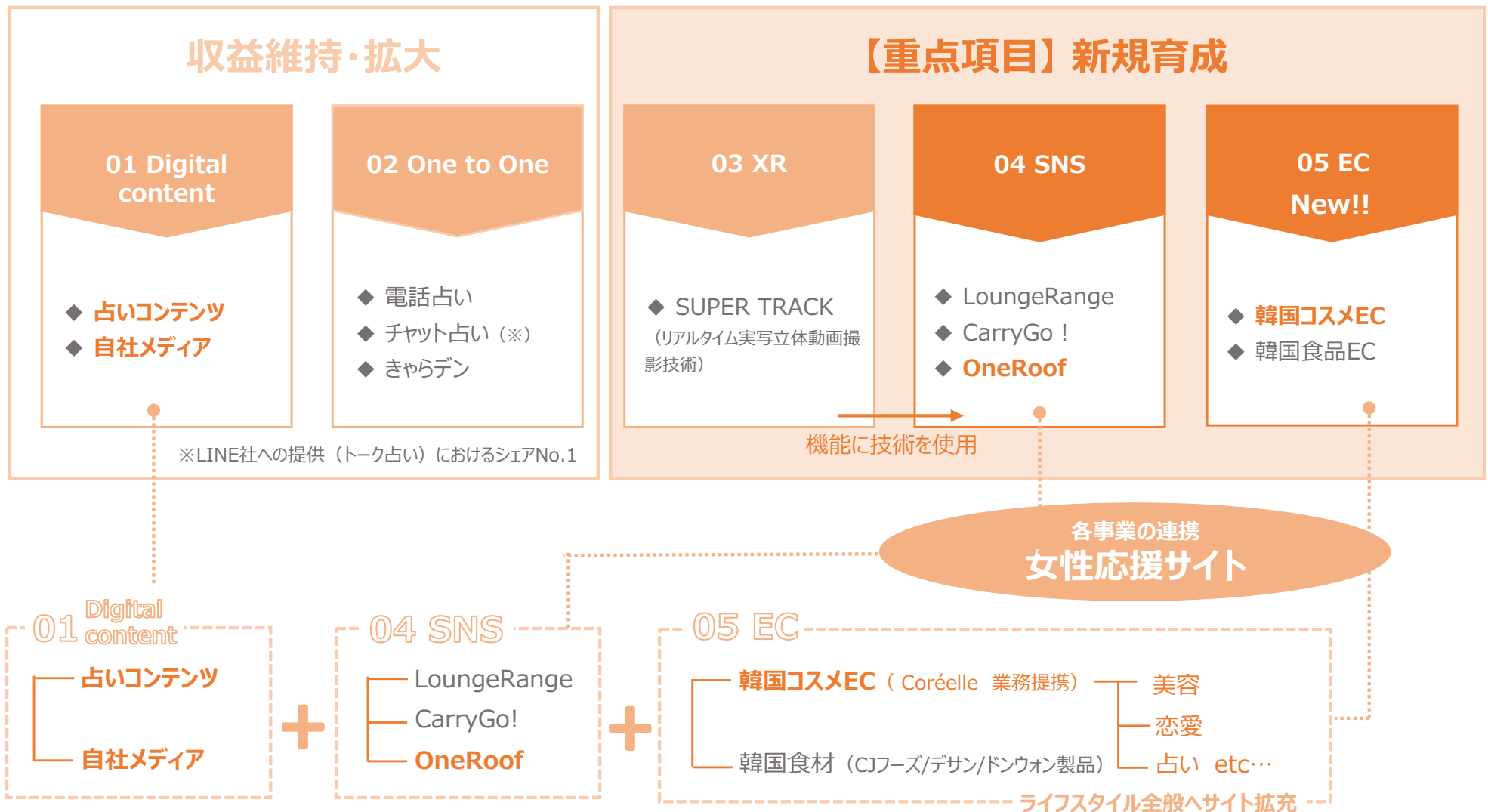
企業としての社会貢献

- デジタルコミュニケーションの発達と普及の促進
- 「リアル」と「デジタル（コンテンツ）」2つのコミュニケーションを通じて人と人の関係構築・深める

ミッションの達成・企業価値の向上

※ 取り組み等については、2022年11月25日に開示した「事業計画及び成長可能性に関する事項」および「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」をあわせてご参照ください。計画書に記載の内容から追加又は変更があった個所に下線をひいております。

20代から60代の現役世代 働く女性を応援するサービスを推進



売上維持・利益率改善が課題

2023年から2024年にかけてシステムに投資 広告方法の多様化にも注力

収益
維持・拡大

◆新規コンテンツ制作体制の見直し 運用強化

現在：年間12本製作⇒2024年8月期以降：年間5～6本制作体制への移行
⇒ 著名・人気占い師監修コンテンツのみに絞り制作 1本あたりのヒット率・収益力を向上させる
⇒ 新規コンテンツ制作体制と運用体制の一体化 … 固定費の削減による粗利率改善

◆積極的なシステム化（システム投資）

既存システムのリニューアルの他 運用のシステム化により効率化を促進
⇒ 「人」でなくてもいい業務はシステムで「発想」「企画」に業務比重を高める

セグメント	内容	投資額	リリース時期
デジタルコンテンツ	・マーケティングシステム	50百万円（見込）	2024年内リリース（予定）
One to One	・ユーザー/占い師管理システム	29百万円	2023年1月リリース（償却開始）
	・電話占いシステム（リニューアル）	60百万円（見込）	2023年内リリース（予定）

◆プロモーション強化

サービスに関する認知だけでなく ユーザーのサービスに対する理解度を促進
⇒ ネット系：Webサイト/Web広告/アプリ/SNS（口コミ含む）
⇒ 動画系：サービスの活用方法動画/インフルエンサー等によるサービス利用動画 等

下期から来年上半年にかけての重点項目

2023年8月期中に各事業ビジネスモデルの構築を完了

新規育成

◆SNS事業収益化

・ LoungeRange運営：単月収支黒字化（2024年8月期）
⇒ 個人顧客の他 法人顧客の獲得に注力 安定利用・低解約率を目指す

・ CarryGo！：2023年4月リリース
⇒ LoungeRangeとの相乗効果を狙う

・ OneRoof：2023年8月期中 改修完了・リニューアルリリース
⇒ 出会いたい人たちの「マッチングアプリ疲れ」からの解放 コンセプト原点に立ち戻ったサービス内容へ

◆ECサイト立上げ

・ 韓国コスメ
韓国企業Coréelle社との業務提携により同社の韓国コスメECサイトの日本版を制作・運営予定
広告にK-POPアイドルを起用するなど若年層のユーザーを獲得 徐々に「品質重視」の20代後半～40代層へアプローチ
⇒ 同社PB商品の国内独占販売権を獲得済み

・ 韓国食品
韓国食品輸入企業との業務提携により韓国食品販売ECサイトを制作・販売予定
⇒ 韓国三大食品メーカー（CJフーズ/デサン/ドンウォン）商品が1つのサイトで廉価に購入可能

◆働く女性応援サイト立上げ

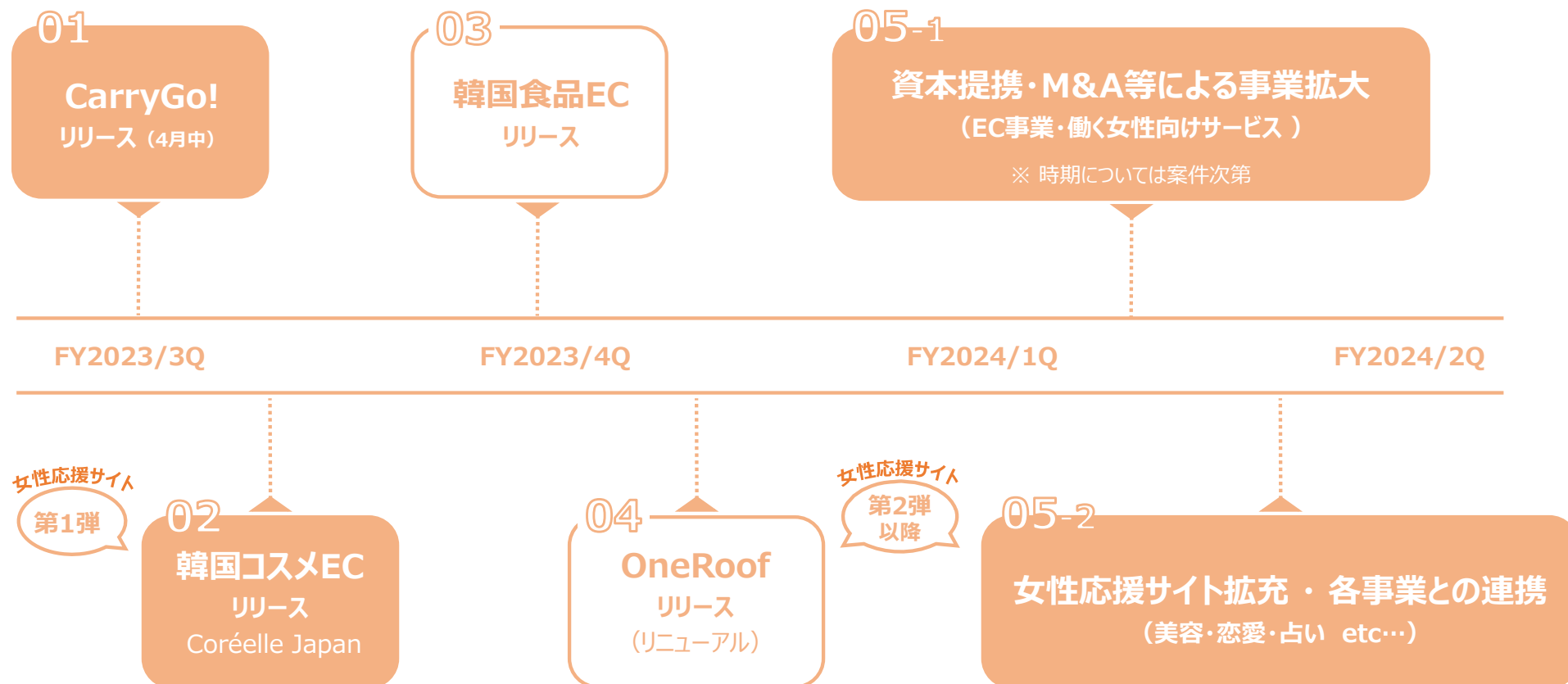
働く女性のライフスタイルをよりよくするための応援サイトの立ち上げ ECサイトはもちろん既存事業との連携を視野に構築

◆積極的なM&A 事業投資

現代的かつ都会的なライフスタイルを送る20代から60代の働く女性を主なターゲットとした事業

SNS事業・EC事業

新規育成推進イメージ



※ 推進イメージは本説明会開催日現在における計画であり 実際のリリース時期等は様々な要因により変更となる可能性があります。



- 01 | 2023年8月期 中間業績
- 02 | 当社の状況と今後の取組み
- 03 | **TOPICS**
- 04 | ご参考（会社概要）

STEP ラウンド・インドアの両方でゴルフ女子とマッチング

01 ゴルフマッチングサービス「CarryGo!」リリースに向けて最終調整中



POINT 01 厳選されたキャスト

マナーや言葉遣いに関する面接の他 プレーの実践テストを現地
当社が定めた一定基準を満たした方のみキャストとして登録

POINT 02 インドア・アウトドア両方に対応

ラウンドゴルフをする時間のない方
初対面で1日かかるラウンドは不安な方
インドアゴルフであれば1時間からマッチング可能

POINT 03 メッセージ無料

月額利用料なし 無料でメッセージ可能 (※)

POINT 04 24時間365日サポート体制

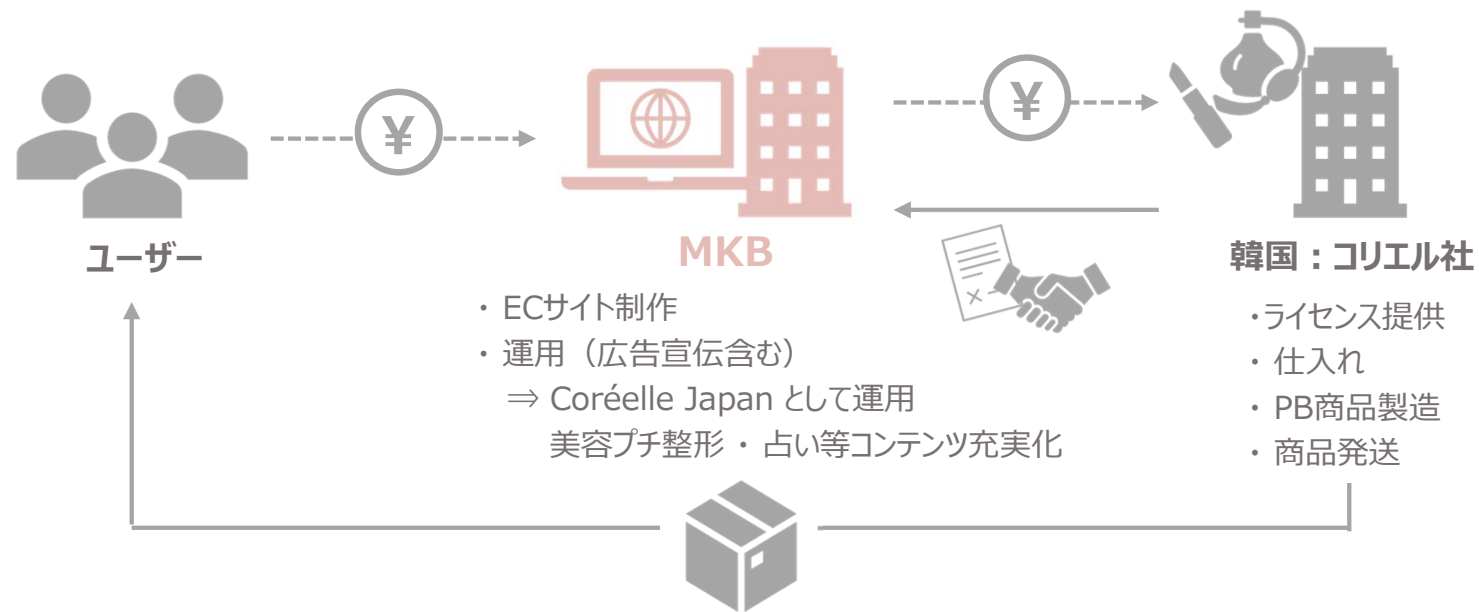
安心・安全にサービスをご利用いただくために
いつでも気軽にお問い合わせができるコンシェルジュ窓口を設置

CarryGo!

※ラウンド・インドアゴルフの予約が確定した際にマッチング料金が発生します。

STEP 韓国コスメEC

02 Coréelle Japan リリース (2023年6月予定)



POINT 01

韓国本国のコスメEC運営会社との協業

POINT 02

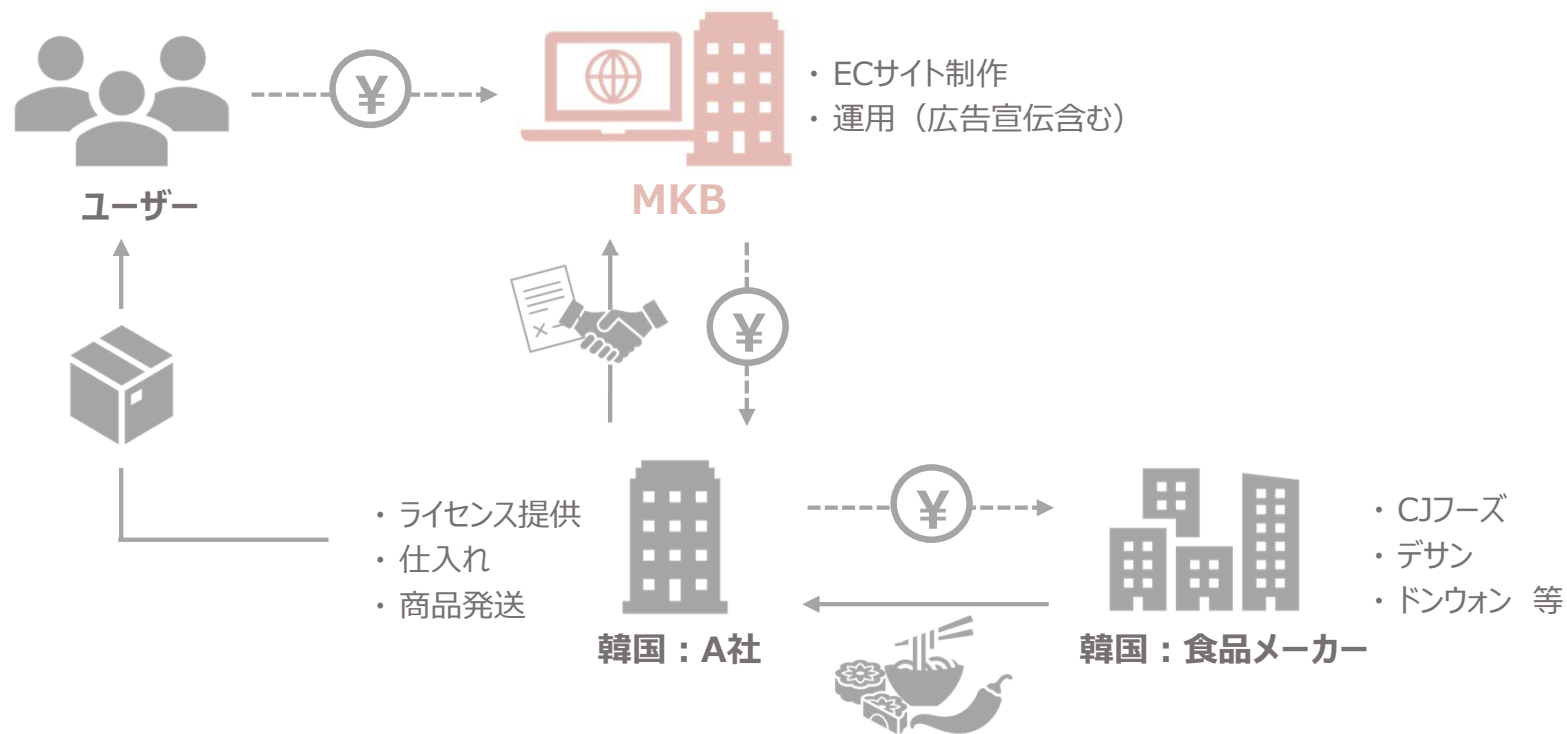
PB商品に関する日本国内独占販売権取得

POINT 03

女性応援サイト第1弾「美容」 将来的にはライフスタイル全般へ拡充

STEP

03 韓国食品ECリリース (2023年6月予定)



POINT 01 韓国大手食品メーカー 3社の製品が廉価で購入可能

POINT 02 日本に住む韓国人に向けた商品ラインナップ



- 01 | 2023年8月期 中間業績
- 02 | 当社の状況と今後の取組み
- 03 | TOPICS
- 04 | **ご参考（会社概要）**

VALUE YOUR LIFE with Global Human Communication.

テクノロジーは日々驚くべきスピードで世界的に進化し続けています

私たちはこうしたテクノロジーの進化こそが
人々に新しいコミュニケーションをもたらすと信じています

私たちのミッションは デジタルコミュニケーションを通じて

人々を心から楽しませ 不安や悩みを解決する一助となり

世界的に人々が豊かな人間関係を構築し社会がよりよくなるきっかけとなることです



代表取締役 長沢一男



赤坂本社
(住友不動産新赤坂ビル)

本 社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設 立	1997年10月
資 本 金	451百万円
従 業 員 数	連結 98名 (2月末日時点：就業人数 内正社員68名)
平 均 年 齢	34.5歳 (2月末日時点：グループ全体平均)
子 会 社	株式会社ミックスベース 株式会社ギフトカムジャパン 株式会社X Square
上 場 市 場	東証グロース (3815)
事 業 内 容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他

< 取締役 >



長沢 一男
(代表取締役社長)



酒井 康弘
(One to One事業 担当)



長沢 匡哲
(デジタルコンテンツ 事業 (統括) 担当)



長沢 和宙
(アライアンス統括事業 担当)
(SNS事業 担当)



長谷川 かほり
(デジタルコンテンツ 事業 (新規) 担当)

< 社外取締役 >



伊藤 文博



宮入 康夫

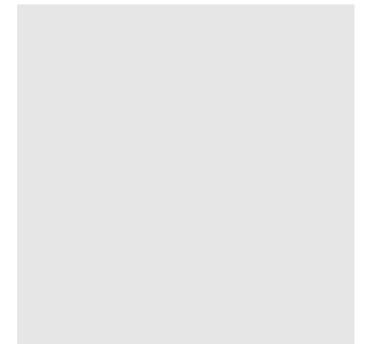
< 社外監査役 >



井上 哲男



篠原 尚之



小野 好信

株主情報

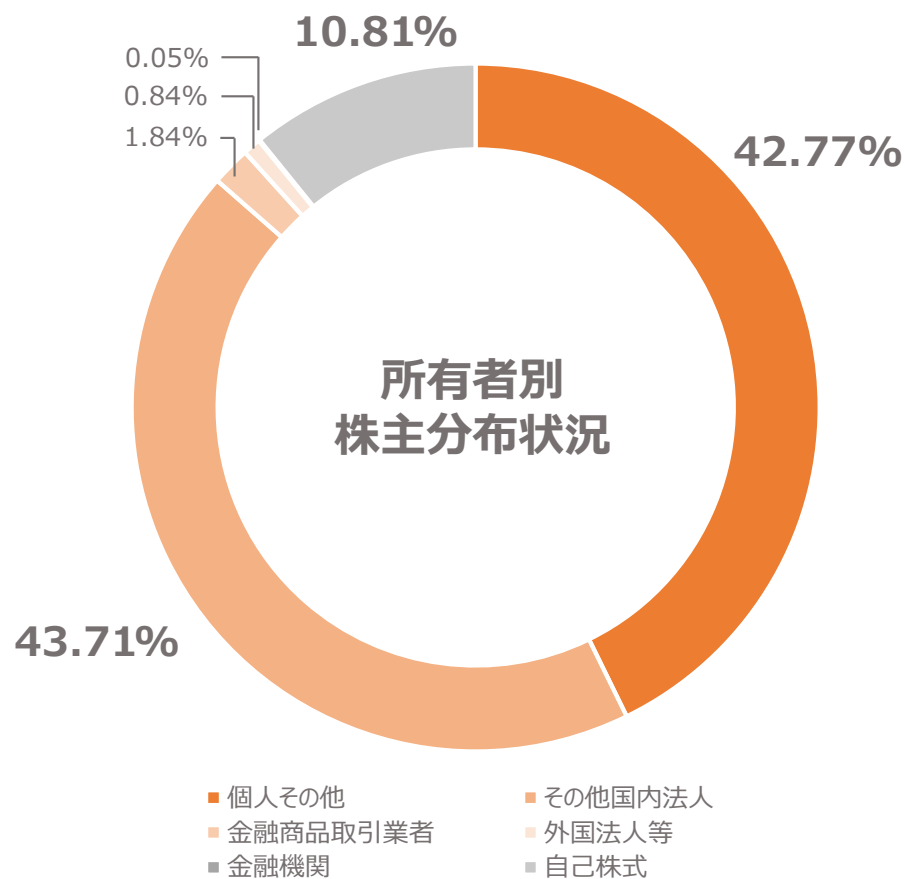
上場証券取引所	東京証券取引所 グロー市場
証券コード	3815
発行済株式総数	11,300,000株
株主数	3,126名 (内 議決権を有する株主数 2,956名)

株式の流動性

流通株式数	27,986単位
流通株式比率	24.77%

大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	所有割合 (%)
1 株式会社エヌカルテット	4,859,000	48.21
2 長沢 一男	1,951,800	19.37
3 長沢 敦子	188,000	1.87
4 長沢 匡哲	85,000	0.84
5 高橋 芳郎	63,000	0.63
6 株式会社千里眼	60,600	0.60
7 松井証券株式会社	37,400	0.37
8 楽天証券株式会社	37,100	0.37
9 林 靖	34,000	0.34
10 唐 悠子	33,000	0.33



※ 当社は自己株式として1,221,077株（保有割合10.81%）を保有しておりますが、大株主の状況からは控除しております。

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控えます。

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績および記載されている将来の見通しとは乖離が生じる可能性があり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありませんことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ



株式会社メディア工房
経営企画 IR 担当

TEL : 03-5549-1804
FAX : 03-3586-4480

MAIL : irpr@mkb.ne.jp
HP : <http://www.mkb.ne.jp/>